



ひがし かず こ
【東 和子】

コロナ禍、新たな菊川市を見据えて

厳しい感染症対策をしながら、市民の皆様の数多くの声を丁寧に聴かせていただきました。その中で、菊川市が新たなステージに入ったことを実感しました。

- 一、地場産業の活性化
- 一、水害に強い地域への転換（ゲリラ豪雨対策等）
- 一、子どもや高齢者が安心して生活できる環境づくり

このようなことを女性ならではの視点を生かすと共に教育、福祉の現場で長い期間働いてきた経験を元にキメ細かく対応し、解決に導く覚悟をいたしました。そして、これから市民の皆様の声をお聴かせいただき、市政、行政に反映できるよう頑張っていきたいと思います。



すとう ゆき
【須藤 有紀】

誇りある街づくり

「このまちに生まれ、住んでよかった」と、しみじみと思って頂けるようなまちづくりをしたい。それが、私の理想です。そのために、取り組みたいことが大きく三点あります。

まず農業振興について。子どもたちに農業・茶業教育等に親しんでもらうと同時に、市の外へもPRし、消費拡大、販売促進を目指します。

次に土木の強化について。河川の氾濫対策や危険個所の修繕、舗装など、必要なことはたくさんあります。地域のお声をお聞きしながら、さらに住みやすいまちを目指します。

最後に企業誘致や子育て支援について。若者の声を聞きながら雇用拡大と教育の充実を図り、若者が戻ってきたいまちを目指します。

皆様のお声を大切に、全力で頑張ります。ご指導ご支援の程、宜しくお願い致します。



わたなべ おさむ
【渡辺 修】

人を育て守る街へ

菊川の未来は菊川を担う人材をいかに育てられるかにかかっています。教育現場を全面的に支援し、業務と時間に追われ四苦八苦している先生方に本来の能力を発揮していただき、菊川の将来を担う人材を育てていただく。そして、育てたら守る。近年の気象災害は過去のレベルを遙かに上回り、日本列島に襲いかかっています。河川改修ほか、確実堅固な災害対策を進めなければなりません。人材を健全に育て安全な街作りで守っていく、これこそが明るい菊川の未来の道標です。

そしてなんとと言っても、深蒸し茶発祥の地 菊川復興です。茶農家減少に合わせた今までは視点の違う茶業振興施策と荒廃農地対策を打たねばなりません。荒廃を再生するのではなく、先回りした荒廃対策を。



あつみ よしき
【渥美 嘉樹】

一つ一つ、変えていく!!

少子高齢化によって、予算・人手が減っていく中、依然として課題は複雑化・多様化しております。その中で必要なことは、現状維持ではなく、変えるべき所を一つ一つ変えていく「改善の政治」です。以下三つの方法で「改善の政治」の実現を目指します。

【市政の見える化】
機関誌・ホームページ・SNS等によって、まずは「市政の見える化」を進めます。

【市民の声を広く募集】
「改善」のためには、どんな課題があるのか把握する必要があります。「現場第一」で一人一人の声を真摯に聴いて参ります。

【建設的かつ提案型の議会活動】
市民の代弁者として、実現可能な「改善」を、議会にて強く訴えて参ります。